

令和元年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書



音楽発表会（出小）

令和2年3月
出雲崎町教育委員会

目 次

	頁
はじめに	1
I 総合教育会議	3
II 教育委員会の会議及び活動状況	4
III 学校教育	7
1. 出雲崎小学校	7
2. 出雲崎中学校	12
3. 学校支援地域本部事業	16
IV 社会教育事業の実施状況	20
1. 社会教育・公民館事業	20
2. 図書館事業	28
3. 社会体育事業	31
V 学校・社会教育施設の整備充実	36
VI 学識経験者からの総合評価	37
VII その他	38

はじめに

1 点検評価の公表

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務付けられている。

本報告書は、これに基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和元年度の出雲崎町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行った結果を報告するものである。

2 学識経験者の知見の活用

令和元年度の点検・評価に当たっては、学識経験を有するものとして、前年度と同様に、元長岡市立北中学校長の山崎十五郎氏（柏崎市・旧西山町在住）から、第5次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想及び基本計画をふまえて、本年度事業及び次年度に向けて助言・指導を得た。

3 報告書の内容から見られる評価

- (1) 「教育委員の活動状況」については、教育委員としての見識を深め、教育行政に反映させるべく、定例の教育委員会会議の終了後に、教育に関する直近の話題や諸問題について、講義と意見交換を合わせた勉強会として「教育委員研修」を実施している。

また、他町村の教育委員会と意見交換を行う機会を設け、教育委員同士の研修を行うなど来年度以降も教育委員の資質向上に向けた研修機会を設けることにより、教育活動の充実が期待される。

- (2) 確かな学力向上に向けて小学校1・中学校1のメリットを生かすため児童・生徒主体の授業構成、振り返りを重点にしており、また発達段階に応じて学ぶ環境や習慣の基礎、基本を大切に教育を実践している。学力テストの結果では小学校は全国平均をやや下回っており、中学校は全国平均並みの結果となっており、授業の振り返りや週末課題の定着を一層図っていく必要があると考えている。

- (3) 学習指導、生徒指導の教育活動の充実を図るため、教員補助員を小学校3名、中学校に3名配置することや小4から中3まで外国語を通じて表現力、コミュニケーション力を身に付けさせるため英語指導員を配置している。

また、理科や数学に対する子供たちの興味、関心が薄れ、学力低下との指摘があることから、小4から小6の理科には「理科支援員」を配置し、教員をサポートする体制の継続を図るとともに、中学校入学後における理科教育に対する意欲、関心等の充実及び学力向上に結び付くよう取り組んでいる。

- (4) 小学校・中学校に「情報教育支援員」を配置し、授業における理解や興味を深めるため電子黒板やタブレットを使った授業を行うなど、先生の負担軽減や生徒が授業に注目し易い環境を整え、多角的に教員のサポート体制の充実を図っている。

- (5) 「社会教育」については、一人ひとりが主体的かつ積極的に社会教育事業に

参加推進できるように取り組んできた。

特に「出雲崎総合大学」事業は、21年間継続している事業であるとともに、多彩な事業メニューを組み、年々参加者が増加しており、中核となる事業として事業展開がなされている。

- (6) 小学校児童の放課後の学びの場として、「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」をより安全に過ごし、多様な体験や活動行うことができるように「放課後子ども総合プラン運営委員会」を設立し、運営の検証・評価を話し合った。

4 今後の点検・評価にかかる重点事項について

次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、取り組んで参りたい。

- (1) 児童・生徒が一人の大人として成長していくためには、学校における教育だけでなく、地域や地域の人たちとの関わりが重要となってくる。

「出雲崎町教育計画」では、このような学校環境を考えたとき、小学校入学から中学校卒業までの9年間を小中連携した教育を行うことにより効果的な指導ができる。義務教育のまとめとなる中学校卒業時の“具体的な子ども像”を描き、そのことを実現するために各発達段階をふまえて、生活面（規範意識、社会性、ものの見方や考え方等）と学習面（知識理解、活用力等）を中心に、指導の方策・内容に共通性を持たせることが必要となる。実際の指導では、目標を連鎖させて「学校評価」「教員評価」を活用し、小中学校教職員が同一歩調で児童生徒の指導に当たるよう取り組んでいく。

- (2) 学習面では小中学校の9年間で発達段階に応じた指導を進めているが、学力テスト結果からさらに家庭学習の充実、定着を図り学力向上に努めたい。

総合学習等では、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っていき、その成果を称え中学校卒業時に「良寛学習修了証書 慈愛」を交付するなどで、「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」を持ち続ける学社連携事業を着実に進めたい。

- (3) 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援教育の充実を図るため、教員補助員や介助員の配置により特性に応じた指導、支援を行い、一人一人の基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上を支援していく。学校側からも人的確保が充実されており喜ばれている。

- (4) 町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の3つを施策の柱として進めていく。青少年育成や成人の学習活動で教室、講座、イベントなど行政が行うものに加え、自主的な団体活動の学習機会の充実を図っていく。

- (5) 子供の一貫した見とりや指導の重要性から、知育、徳育、体育、地域の魅力、郷土愛を重点に取組み、保・小・中の連携を一層深めることとしたい。

- (6) 青少年のSNSに係るトラブルが増加していることから、小・中学校において通信機器の正しい使い方と危険性について指導・啓発を一層進めていかなければならない。

I 総合教育会議

- (1) 新教育委員会制度により、町長が招集する「総合教育会議」を令和元年6月12日開催し、町長と出雲崎町の教育について意見交換を行い、教育現場の現状や児童・生徒の様子について話し合いを行いました。

出席者	出雲崎町長	小林 則幸
	教育長	佐藤 亨
	教育委員	村越 隆夫
	教育委員	内山 才子
	教育委員	佐藤 正志
	教育委員	大磯多華子
	教育課長	矢島 則幸
	管理指導主事	高畑 秀紀
	教育課課長補佐	吉岡 育子
	庶務学校教育係長	若山 和義

話し合い事項

- 1 出雲崎町の教育現場の状況について（教育長）

新教育委員会制度や総合教育会議の趣旨を説明。いじめ、不登校、虐待問題に対して予見と迅速な対応ができる組織であること。町の課題である学力向上、教師の資質向上、特別支援教育の充実、働き方の見直しを学校、教育委員会で取り組むべく方策について説明を行った。

- 2 児童・生徒の様子について（管理指導主事）

小・中学校の児童生徒の様子、教職員の様子を把握し、校長のリーダーシップのもとでの教育活動の理解を求めた。また特別支援を必要とする児童生徒の指導のための研修や働き方改革について教職員の超過勤務の削減目標時間や年休取得日の積極的取得目標日数を示し、推進していくことを確認した。また教育課題への対応として確かな学力向上に向けて授業づくり、振り返り、学習習慣を引き続き重点におく取組みを説明した。

- 3 通学路の安全確保について（教育課長）

通学路における不審者事案で児童生徒の安全確保の取組が強く求められており、登下校時における防犯教育の充実や家庭・地域による見守り活動に努める対策の意見交換を行った。



引渡し訓練の様子

Ⅱ 教育委員会の会議及び活動状況

(1) 定例会および臨時会の開催（定例会 5 回、臨時会 2 回）		
会議	日付	審議事項等
4 月定例会	4/18	奨学金の貸与 学校評議員、教育行政点検評価員の委嘱 (議案 3 件)
6 月定例会	6/12	社会教育委員、公民館運営審議会委員、文化財調査 審議会委員の委嘱 図書館協議会委員の任命 補正予算 (議案 5 件)
7 月臨時会	7/23	使用教科書用図書の採択 (議案 1 件)
9 月定例会	9/5	補正予算 (議案 1 件)
12 月定例会	12/4	補正予算 (議案 1 件)
3 月定例会	3/5	R 元年度補正予算、R2 年度当初予算 教育委員会表彰 公民館設置及び管理に関する条例及び条例施行規 則の一部改正 図書館設置条例施行規則の一部改正 (議案 6 件)
3 月臨時会	3/19	教職員及び教育委員会の人事異動 公民館長の任命 (議案 2 件)
(2) 教育委員研修		
・新潟県市町村教育委員連合会総会・研修会（村上市 7/19）		
・意見交換会（柳津町 10/9）		
・庁内研修 5 回 「4/18・6/12・9/5・12/4・3/5」		
(3) その他の参加活動状況		
・転入教職員面識会（4 月 1 日/月）		
・小・中学校入学式（4 月 9 日/火）		

・町教育研究会研修会、総会（5月24日／金）
・出雲崎小学校運動会（5月18日／土）
・文化芸術鑑賞会（7月5日／金）
・町成人式（8月16日／金）
・出雲崎中学校体育祭（9月7日／土）
・出雲崎小学校音楽発表会・20周年式典（10月26日／土）
・出雲崎中学校学習発表会（10月26日／土）
・生涯学習フェスティバル（11月3日／日）
・未来の夢こども体験講演会（11月6日／水）
・学校施設営繕視察検討会（11月19日／火）
・町教育委員会表彰伝達式（新型コロナにより手交）
・中学校卒業式（3月3日／火）
・小学校卒業式（3月25日／水）

▶ 概要

令和元年度の教育委員会会議は、定例会を5回、臨時会を2回開催し、19件の議案を審議した。総合教育会議は児童・生徒等の生命・身体等の緊急の講ずべき課題はないために1回の開催となった。

また、教育委員の活動状況は、年間を通して学校行事や研修会、社会教育行事等に積極的に参加していただくなど、特に柳津町教育委員との意見交換会は自らが教育委員としての資質向上や、教育分野の視野を広げる活動を行うことができた。

▶ 成果と課題

- (1) 町長と教育委員による総合教育会議の開催より、教育委員会制度の再確認や特別支援教育の充実、キャリア教育の推進、学校支援体制の強化を図るなど、両者の教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを確認できた。
- (2) 教育委員会を開催する際は、定例的に教育委員研修を実施することで、教育や子育て支援に関する新制度や児童生徒の現状を速やかに報告するなど教育委員と事務局の情報共有を進め審議の活性化に努めた。
- (3) 生徒指導、特にいじめや不登校に対しては、いたずらによる言動や不登校気味の児童・生徒が見られたが、即対応したことで大きな問題にはならなかった。今後も児童・生徒の様子を教職員が把握し、何かあった時は校長のもとで初期対応をチーム学校で取り組む体制を構築していく。また「出雲崎町いじめ防止基本方針」による取組や学校とPTA、保護者などと連携しながら、「いじめを生まない、いじめを絶対見逃さない」意識を醸成していく。

- (4) 自然体験として小4～小6までを対象にスキー教室を行った。また小1～小3も雪遊びやスケートを通じて新潟県内に住みながら冬の体験活動の機会が少ないことから学校生活では体験できない自然環境で心身、技能を高める目的で今後も続けていく。
- (5) 教育支援相談は教育課と保健福祉課で連携して対応している。職員（保健師）による聞き取りや助言を行い、ケースによっては専門員による巡回指導やスクールカウンセラー事業での臨床心理士による相談により、児童生徒の保護者への支援を行っている。
- (6) 高校生の通学に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、通学定期券購入費用の一部を助成しており、通学が困難で寮生活されている生徒も対象にしている。
- (7) 小・中学校に入学する児童・生徒の保護者に対し、入学祝い金の支給を入学前の2月に支給し、入学準備に保護者の経済的負担軽減が図っている。
- (8) 若者の定住促進を図るため、奨学金の貸与を受け大学・専門学校等に就学した学生が卒業後に当町に定住し就職された場合に返還する奨学金の一部を助成し、着実に成果を上げている。
- (9) 昨今の通学途中の犯罪や交通事故を背景に、登下校の児童・生徒の安全確保が求められていることで、冬期間に限り自宅から3km以上の中学生にスクールバスの運行を開始した。
- (10) 町内各地でイノシシの出没により通学路や住宅近辺で目撃されており、児童・生徒に遭遇した場合の対処方法を指導し、イノシシの習性を知りケガや事故につながらないように登下校の安全対策を行った。
- (11) 新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、感染拡大防止から小・中学校を3月臨時休業としたことによる教育活動の再開に対する課題が多い。臨時休業中の学習の遅れや感染防止に関して学校の保健、環境（3密）などの管理体制を万全にした対策が必要である。



総合学習（新潟巡検 中2）

Ⅲ 学校教育

1. 出雲崎小学校

知育

主体的な学び

○ 「確かな学力」 向上のために

重点的な取組

- * 学習習慣の定着を図ります。
- * 発表の場を充実させ表現力を高めます。
- * 確実な理解を図り補充指導を行います。
- * 話し合い活動を大切にした授業をします。
- * 外国語活動を充実させます。

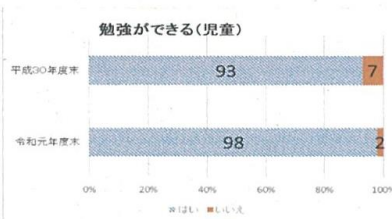


3年国語研究授業

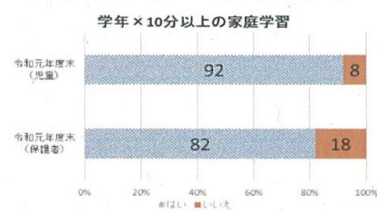


4年総合「福島・柳津小との交流」

・「勉強ができるようになった」と肯定的に考えている児童は、昨年度から漸増し9.8%と高い水準です。今後も学習の見通しをもたせ、主体的な学習を促していきます。



・家庭学習の習慣化している児童の割合は昨年度末の8.6%から9.2%と増加しました。ただ、保護者のアンケート結果は昨年とほぼ同じでした。今後も家庭と連携して学習習慣を定着させていきます。



・「進んで発表したり友達と相談したりして勉強に取り組む」ことは、8.5%と決して低くはありませんが、7月からの上昇はありませんでした。より深い学びにつながるように、授業改善を進めていきます。



次年度に向けて

- ★「主体的・対話的で深い学び」のある授業になるように教材研究を行い、一人一人が「わかる・できる」と感じる授業を工夫していきます。
- ★「自分から進んで行う家庭学習」の定着を目指します。

徳育

豊かな心

○豊かな心の育成のために

重点的な取組

- *縦割り班活動を充実させます。
- *人権を考える授業を行います。
- *あいさつ運動を継続します。
- *ボランティア活動を進めます。
- *キャリア教育を進めます。

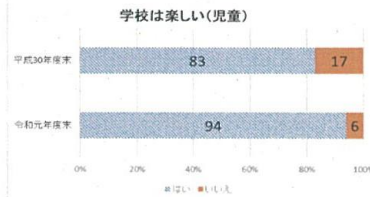


あいさつ運動

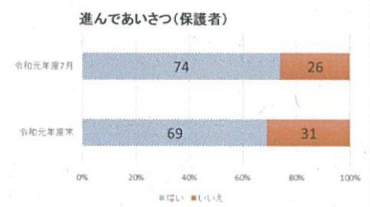


ふた葉班遠足

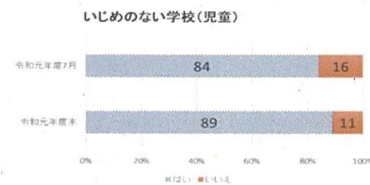
・「学校が楽しい」と肯定的に回答した児童は昨年度末の83%から94%に増加しました。より充実した教育活動を展開し、児童全員が学校は楽しいと感じられるように取り組んでいきます。



・あいさつ運動などの場面での挨拶はよくなってきています。しかし、日常生活の中での自然な挨拶には個人差があり課題を感じています。地域での挨拶、教室や廊下での望ましい挨拶が習慣化するようにしていきます。



・「いじめのない学校」だと思ふ児童は7月と比べ約5%増加しました。しかし、11%の児童が否定的であることに注目し、すべての児童が「いじめのない学校」だと感じられるように、未然防止に努めていきます。



次年度に向けて

- ★児童会活動を充実させ、気持ちのよい挨拶をすることやきまりを守ることなど、児童の主体的な取組を大切に活動を進めていきます。
- ★今後も児童一人一人との面談や定期的開催している「子供を語る会」を通して児童理解に努め、全校体制で豊かな心の育成に取り組めます。

体育

健康な体

○健やかな体づくりのために

重点的な取組

- *めあてをもって運動します。
- *眠育に取り組みます。
- *安全な登下校の仕方を指導します。
- *家庭と共に食育を推進します。
- *メディアとの関わり方を指導・改善します。



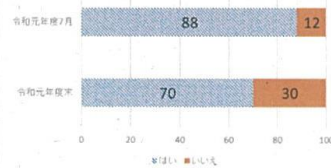
マラソン大会



眠育の授業

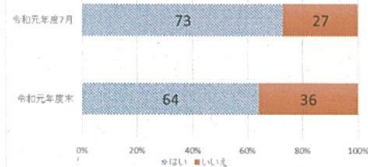
・学校では、休み時間になるとグラウンドや体育館で体を動かす子が多くいます。個人差はありますが、体を動かすことが好きな児童は多いと感じます。冬場になると遊び場が制限され、体を動かして遊ぶ機会が少なくなることは、保護者の回答にも表れているようです。

体を動かして遊んだり運動したりする(保護者)



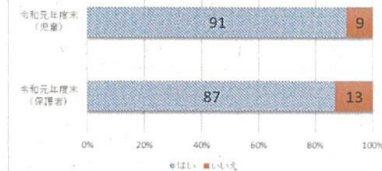
・運動する機会が減った分、テレビやゲーム、パソコン等、メディアの使用機会が増えます。保護者の回答結果から、メディア使用のきまりを守れていない様子がうかがわれます。メディアとのよりよいかかわり方については今後ますます重要になります。家庭と連携して取組を進めていきます。

メディア使用のきまり(保護者)



・ハッピーライフウィークの取組や睡眠指導などによって、生活リズムを整えて生活しようという意識が高まっています。今後も健康的な生活が継続できるように取り組んでいきますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

早寝・早起き・朝ご飯



次年度に向けて

- ★体育の授業等で運動する楽しさや上達する喜びを味わわせ、主体的に運動する態度が身に付くようにします。
- ★早寝・早起き・朝ご飯、メディアとのかかわり方について、ハッピーライフウィークの実施期間だけでなく、継続して取り組めるような手立てを考えていきます。

令和元年度

出雲崎小学校

学校評価だより

おめでとう 20周年

見つけよう 伸ばそう 自分の一番☆

今年度はこれを合い言葉に、全校児童と全職員で教育活動を進めてきました。年度末にあたり、今年度の重点目標の評価結果と、来年度に向けての取組についてご報告します。

* ↑ : 中間評価と比較してアップ ↓ : 中間評価と比較してダウン

児童アンケート結果		中間評価	年度末評価	比較	保護者アンケート結果		中間評価	年度末評価	比較
1	学校は楽しいですか。	93.6	93.7		1	お父さんは、喜んで学校に通っていますか。	93.5	93.2	
2	勉強ができるようになりましたか。	94.9	97.5		2	お父さんは学力が身に付いていると感じますか。または、以前よりも学力が向上していると感じますか。	87.7	86.4	
3	学年×10分以上の家庭学習に毎日取り組むことができましたか。	92.3	92.4		3	お父さんは、家庭で学年×10分以上の家庭学習(宿題を含む)に取り組んでいますか。	80.5	81.6	
4	授業中、進んで発表したり、友達と相談して勉強に取り組むことができましたか。	85.4	83.5		4	お父さんは、家庭や地域で、進んであいさつをしていますか。	74.0	68.7	↓
5	友達となかよくできましたか。	97.5	95.6		5	お父さんは、家庭や地域で、自分ができる仕事やお手伝いを進んでしていますか。	66.9	72.8	↑
6	自分から進んであいさつできましたか。	85.4	88.0		6	お父さんは、健康的な生活(起床時刻・朝食・就寝時刻など)を送っていますか。	89.0	87.1	
7	出雲崎小学校は、いじめのない学校だと思いますか。	84.1	88.6	↑	7	お父さんは、放課後や休日に体を動かして遊んだり、運動したりしていますか。	87.7	70.1	↓
8	係活動や当番活動、委員会の仕事など、みんなの役に立てたと思いますか。	93.0	93.0		8	お父さんは、家で決めたテレビやゲーム、パソコン、タブレットなどの使用のきまりを守っていますか。	72.7	63.9	↓
9	お家で決めたテレビやゲーム、パソコン、タブレットなどのやくそくを守ることができましたか。	88.5	86.1		9	学校の職員は、お父さんや保護者の困りごとや悩み、相談事に対し、誠実に対応していますか。	92.2	91.1	
10	早寝、早起き、朝ご飯など、健康に気をつけた生活ができましたか。	89.8	91.1		10	学校は、学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせを、適切に伝えていますか。	96.8	97.3	
11	休み時間や体育の時間に進んで運動しましたか。	94.9	93.7						
12	運動会や体力テスト、水泳、マラソン大会など、自分のめあてに向かって、練習したり努力したりしましたか。	95.5	89.2	↓					

今年度の学校評価は7月の中間評価、12月の年度末評価の2回実施しました。児童向けの「学校生活アンケート」保護者向けの「教育活動アンケート」を行いました。上の表の「中間評価」「年度末評価」欄は、各項目の集計結果の平均値を百分率(%)で表しています。

中間評価と年度末評価を比較して、3ポイント以上変化があった場合は矢印で示してあります。

また、アップしている項目とダウンしている項目がありますが、概ね80%以上は良い評価と受け止めています。80%未満の項目についてはさらに活動を充実させていきたいと考えています。

保護者の声

○肯定意見 ●課題

- 行事がたっぷりの2学期でしたが、毎日楽しく学校へ行っていました。学校であった事（楽しかった事、悔しかった事など）もたくさん話してくれるようになり、親としてはうれしいです。友人関係も良く、1学期よりも充実していたのでは…と感じています。
- 休み時間やクラスのお友達が大好きとのことです。毎日楽しそうに学校生活を過ごせることは、とても幸せなことだと思うので、これからも見守っていきたいと思います。良い環境を作ってください、ありがとうございます。今後ともお世話になります。よろしくお祈りします。
- 今年から運動会のポスターを貼るときの手順が書かれた紙が配られましたが、非常にわかりやすく、とても良かったです。また、休み時間の避難訓練も、いい取り組みだと思います。今年度の学校からの手紙は、丁寧で的確で、今までより良いと思いました。既存のものを使い続けるのではなく、よりよくしようという思いが伝わりました。これからもアンテナを張って行ってほしいです。
- 進んであいさつができる子どもが少ないように感じます。先にあいさつしても全くしない子や、元気がない子が多いです。顔見知りではなくても、元気にあいさつしてほしいです。
- 筆箱の形や鉛筆の柄、キャップ、消しゴム等、学校または学年できちんと統一してほしいです。
- 「いじめ」まではいかずとも、「いじり」があるのではないかな？と感じる時があります。（子供達の話の聞いていると。）なんでそれ？と思うようなあだ名をつけてみたり、一定の子に不利になるようなルールで遊んだり。先生や親の知らない所でだけ呼びあうという事もあるようで、親の私も、子供達の行動を気にかけていきたいと思います。ぜひ、先生方も少し気にかけていただき、いじめに発展する前に止められたら…と思います。

保護者の声を受け

◎あいさつについて

あいさつを課題にあげた保護者は他にもおられました。学校評価委員会等でもあいさつのことが話題になりました。朝のあいさつやあいさつ運動などの場面では元気がよいのですが、それが日常生活につながっているかと言えば個人差があります。あいさつは人と人をつなぐ最初のコミュニケーションです。様々な価値観の人とよりよい関係を築くためにも今後ますます大切になってくると捉えています。家庭や地域でも自然に気持ちのよいあいさつができるように取組を工夫して進めていきます。

◎学習のきまり（持ち物）について

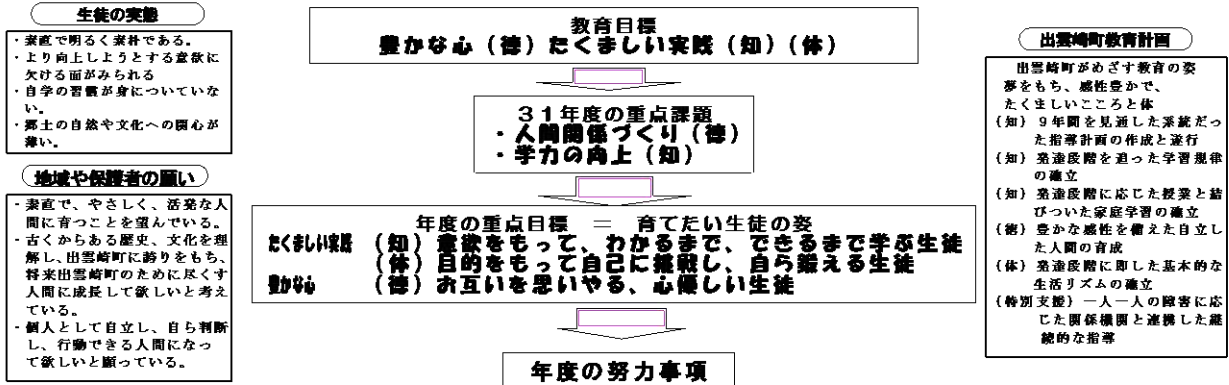
学習のきまりについては「学習の準備」「ノートの書き方」「話し方・聞き方」について基本的な内容を学校・学年で設定しています。学期の始めには確実に子どもたちと確認しています。学年だよりも、筆箱の中味をお知らせしていますので、家庭での確認もよろしくお願いいたします。また、学校には余計なもの・必要のないものをもってこないことが原則です。各学年の実態に応じて指導をしていきます。

◎「いじめ」について

いじめの定義では、当該児童が「心身の苦痛」を感じていれば「いじめ」られていることとなります。具体的には、冷やかしかからかい、悪口や暴言、無視をされる、遊ぶふりをして叩かれるなど様々です。日常的にはありがちなことで、「この程度でいじめなの？」と感じる方もいるかもしれませんが、大事なものは「いじめ」か「いじめじゃない」か、ではありません。深刻になる前に「いじめ」として早期に発見し、すぐに対応することだと考えています。学校では、日常の様子だけでなく、学校生活アンケートや教育相談で子どもたちの変化やSOSをキャッチする努力をしています。家庭や地域の様子で気になることがあればすぐに担任や学校へご連絡いただきたいと思います。

2. 出雲崎中学校

令和元年度 出雲崎中学校グランドデザイン

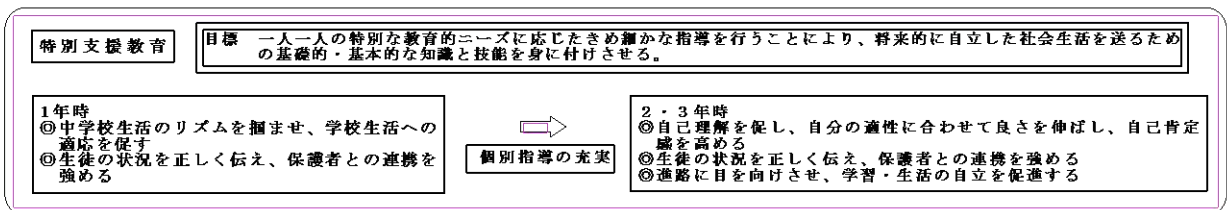


重点目標	知：意欲をもってわかるまでできるまで学ぶ生徒	徳：お互いを思いやる心優しい生徒	体：目的をもって自己に挑戦し自ら鍛える生徒
努力事項	1 知識・技能の着実な習得と、活用場面の充実を通して、学びの実感を育む。 2 言語活動の充実を通して、考えを深められる生徒を育成する。 3 キャリア教育の充実を通して、学ぶ意義や目的を見出し、主体的に学ぼうとする意欲を育む。	1 相手の立場を考えて行動するコミュニケーション能力を育成する。 2 互いに関心をもち、関わり合う活動を通して自己肯定感、自己有用感を育む。 3 人権教育・同和教育の充実を通して、差別や偏見をしない・させない人間関係づくりを醸成する。	1 具体的な目標をもって、継続的に体力の向上を図ろうとする生徒を育成する。 2 自己管理に対する高い意識をもち、基本的な生活習慣(メディアコントロール・睡眠時間・食生活)を確立する生徒を育成する。

目標達成計画

	生きて働く知識・技能	自己肯定感・自己有用感	体力の向上
成果	・12月のまとめテストの結果が基準を上回る。	・多くの生徒が「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。	・2学期に行う新体力テストで、1学期の県平均を超える項目が27/48になる。
教育活動	ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。 イ 基本的な知識や技能が身に付いていなければできない課題ができる ウ 毎日60分以上家庭学習に取り組む	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす。 イ 生徒会活動において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	・運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。
運営活動	ア チャイムと同時に行う学習活動を毎時間準備する。 イ 知識・技能を働かせないと解決できない課題を準備する。 ウ 終学活で家庭学習カードの予定を毎日点検する。	ア 専門委員会や学級での取組について、他者からの評価の場を定期的に設定し、良さを認めたり、改善すべき点を指導したりする。 イ 生徒会活動において、何のための活動か、どんな役に立つ活動かを毎月生徒に指導する。	・体育授業の準備運動で体力作り運動を毎時間実施する。
	自ら学ぶ意欲の育成	豊かな人間関係づくり	基本的な生活習慣の確立
成果	・学ぶ意義や目的を明確にし、意欲的に学習に取り組む生徒の割合が増える。	・多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感じる。	・ハッピーアワーで基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。
教育活動	ア 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりする。 イ 授業で、課題の解決に向けて、自分から考え、自分から取り組む。 ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	ア 相手が言いたいことを考えながら、人の話を聞くことができる。 イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	ハッピーアワーで ①11時までの自分の決めた時間に就寝する。 ②メディア時間を2時間以内にする。 ③バランスの取れた朝食を食べる。
運営活動	ア 毎単元、意図を明確にした話し合いの場面を設定する。 イ 毎単元、課題解決型の授業を設定する。 ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、事前の指導を行う。	ア 望ましい傾聴のモデルを念頭において、授業や特別活動で傾聴の仕方を指導する。 イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	・ハッピーアワー中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。

評価サイクルによる評価の実施



令和元年度 出雲崎町立出雲崎中学校 学校の目標達成計画 年度末評価 (知育)

知	評価項目	評価基準	評価	備考
生きて働く知識・技能	成果 ・12月のまとめテストの結果が基準を上回る。	全体平均を100として A: 100以上の教科が11/15以上 B: 100以上の教科が8/15以上 C: Bに満たない	B	国 社 数 理 英 1年 112 105 139 110 139 2年 93 106 102 98 88 3年 90 102 101 94 94
	教育活動 ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A: 90%以上が肯定的評価 B: 70%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期: 1年78%、2年82%、3年82%、全校83% 2学期: 1年87%、2年82%、3年89%、全校85% 通年全校83%
	イ 基本的な知識や技能が身に付いていなければできない課題ができる。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A: 75%以上が肯定的評価 B: 50%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期: 1年72%、2年59%、3年62%、全校63% 2学期: 1年73%、2年64%、3年75%、全校70% 通年全校67% 学力が2分極化している実態を反映した数値結果。
	ウ 毎日60分以上家庭学習に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで A: 90%以上が肯定的評価 B: 80%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期: 1年82%、2年81%、3年72%、全校79% 2学期: 1年79%、2年89%、3年96%、全校88% 通年全校84% 恒常的な生徒の実態は「4」評価生徒割合の1学期44%、2学期53%程度。
運営活動	ア チャイムと同時に行う学習活動を毎時間準備する。	教師の評価で A: 全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期末職員評価で肯定的評価9/11人 2学期末職員評価で肯定的評価11/11人 通年20/22人
	イ 知識・技能を働かせないと解決できない課題を準備する。	教師の評価で A: 全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期末職員評価で肯定的評価8/10人 2学期末職員評価で肯定的評価9/10人 通年17/20人
	ウ 終学活で、家庭学習カードの家庭学習の予定を毎日点検する。	教師の評価で A: 家庭学習カード記入の声掛けと点検をほぼ毎日行った。 B: 半分以上できない日があった。 C: Bに満たない	A	1学期末職員評価で肯定的評価9/9人 2学期末職員評価で肯定的評価11/11人 通年20/20人
学びに向かう力	成果 学びに向かう力が高まる。	教育活動のア、イ、ウの評価で A = 3点, B = 2点, C = 1点として、合計が A: 8, 9点 B: 5~7点 C: 3, 4点	B	1学期末と2学期末ともに、教育活動のアがB、イがB、ウがBで、合計6点 通年平均6点
	教育活動 ア 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A: 75%以上が肯定的評価 B: 50%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期: 1年64%、2年59%、3年65%、全校62% 2学期: 1年63%、2年58%、3年73%、全校64% 通年全校63% 2年生の数値は低学力生徒参加がフリーライダーとなりがち実態を反映。
	イ 授業で、課題の解決に向けて、自分から考え、自分から取り組む。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A: 75%以上が肯定的評価 B: 50%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期: 1年67%、2年64%、3年66%、全校65% 2学期: 1年72%、2年62%、3年75%、全校69% 通年全校67% 主体的な学習態度のためには教科担任の課題の内容、提示の仕方工夫が大切。
	ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	教師の見取りで A: 90%以上の生徒が肯定的評価 B: 75%以上の生徒が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期末職員評価で全校84% 2学期末職員評価で全校84% 通年84%
運営活動	ア 毎単元、意図を明確にした話し合いの場面を設定する。	毎単元実施しているかについての教師の評価 A: 全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期末職員評価で肯定的評価10/10人 2学期末職員評価で肯定的評価9/10人 通年19/20人
	イ 毎単元、課題解決型の授業を設定する。	教師の評価で A: 全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期末職員評価で肯定的評価9/10人 2学期末職員評価で肯定的評価10/10人 通年19/20人
	ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、事前の指導を行う。	教師の評価で A: 全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	1学期末職員評価で肯定的評価9/10人 2学期末職員評価で肯定的評価12/13人 通年21/23人

令和元年度 出雲崎町立出雲崎中学校 学校の目標達成計画 年度末評価 (德育)

徳	評価項目	評価基準	評価	備考 (①:1学期、②:2学期、③:通年)
自己肯定感・自己有用感	成果 ・多くの生徒が「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。	生徒の学校生活アンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	B	・昨年度の評価:「集団の役に立っている」①72% ②48% 「集団の役に立っている」 ①76% B (1年:79%、2年:76%、3年:72%) ②80% A (1年:76%、2年:82%、3年:82%) ③78% B ※2学期の行事や各種活動を通した、やりきった感が自己有用感の向上につながったと考えられる。
	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす。	生徒の学校生活アンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	・昨年度の評価 ①88% ②90% 「自分の役割を果たす」 ①94% A (1年:96%、2年:95%、3年:90%) ②94% A (1年:93%、2年:95%、3年:93%) ③94% A ※委員会では3年のリーダーシップは大きいが生徒の現状から過大評価の傾向を感じる。
	イ 生徒会活動において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	生徒の学校生活アンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	・昨年度の評価 ①79% ②72% 「自分で気づいて仕事する」 ①81% A (1年:82%、2年:86%、3年:72%) ②86% A (1年:86%、2年:84%、3年:89%) ③84% A ※生徒の現状から考えると、上記の「活動での役割」同様、生徒自身の適正な評価能力の育成も必要?
	ア 専門委員会や学級での取組について、他者からの評価の場を定期的に設定し、良さを認めたり、改善すべき点を指導したりする。	教師のアンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	・運営活動のイについては、「4」のみ肯定とする。 「ア 他者評価」 *「3」の割合が64% ①ア:80% A ②ア:91% A ③ア:86% A 「イ 活動の意義」 ①イ:33% C ②イ:42% C ③イ:38% C ※「ア」については、「3」の評価が64%と多いが、生徒会のフォーリークローバー 活動に伴う成果と考えられる。「イ」に関しては、「3+4」の肯定評価では1,2学期共に80%を超え、概ね良好であるが、生徒の現状から指導者側の厳しい評価となったと思われる。 (「イ」の肯定評価:①83%、②92% ③88%)
イ 生徒会活動において、毎月、何のための活動か、どんな役に立つ活動かを生徒に指導する。	教師のアンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	C		
豊かな人関係づくり	成果 ・多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感ずる。	生徒の学校生活アンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	・評価基準は、Q-Uの結果も参考にして設定 ・昨年度の評価 ①81% ②93% 「安心して過ごせる集団」 ①93% (1年:89%、2年:95%、3年:93%) A ②94% (1年:90%、2年:97%、3年:93%) A ③93% A ※担任の細やかなみとりと声かけの成果と考える。
	ア ペアトークやグループでの話し合いでは、相手が言いたいことを考えながら、人の話を聞くことができる。	生徒の学校生活アンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	・昨年度の評価 ①92% ②99% ①92% (1年:96%、2年:92%、3年:90%) A ②93% (1年:93%、2年:89%、3年:96%) A ③92% A ※傾聴モデル指導の成果
	イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	生徒の学校生活アンケートで A:悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できたことと回答する生徒の割合が80%以上 B:誰かに相談できたことと回答する生徒の割合が60%以上 C: Bに満たない	A	・昨年度の評価 ①73% ②85% 「悩み相談できる」 ①84% (1年:86%、2年:81%、3年:86%) A ②81% (1年:76%、2年:87%、3年:79%) A ③82% A ※1,3年生で7~10%程度の低下が見られる。2年生は集団づくりの成果が見られた?
	ア 望ましい傾聴のモデルを念頭において、授業や特別活動の場面で傾聴の仕方を指導している。	教師のアンケートで A:肯定的な評価割合が90%以上 B:肯定的な評価割合が70%以上 C: Bに満たない	A	・昨年度の評価 ①93% ②94% 「傾聴モデル」 *「3」の割合が50% ①100% A、②94% A、③97% A ※指導が生徒の聞く姿勢の育成にも生かされた。
イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	教師のアンケートで A:肯定的な評価割合が90%以上 B:肯定的な評価割合が75%以上 C: Bに満たない	A	・昨年度の評価 ①100% ②94% 「進んで声掛け」 *「3」の割合が53% ①93% A、②93% A、③93% A ※「安心できる集団」の育成にもつながった。	

令和元年度 出雲崎町立出雲崎中学校 学校の目標達成計画 年度末評価（体育）

体	評価項目	評価基準	評価	備考
体力果の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期に実施する新体力テストで、48項目中、1学期に実施する新体力テストの県平均を27項目以上越える。 ※1学期の新体力テスト：全国共通 ※2学期の新体力テスト：学校独自に実施 ※2学期は、屋内7種目のみ実施。 	2学期に行う新体力テストの結果で、48項目中、 A：24項目以上、県平均を上回る B：20項目以上、県平均を上回る C：Bに満たない。 ※ 総項目数：テスト8種目×各学年・男女6集団の平均＝48項目	B	R1の結果 1学期：22項目 2学期：23項目 ・1男：8項目・1女：3項目 ・2男：2項目・2女：3項目 ・3男：4項目・3女：3項目
教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業や部活動、昼休み、日常生活のなかで、運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。 	生徒の学校生活アンケートで「あなたは運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツが好きですか」という質問に A：好きという生徒が男子70%以上 女子53%以上 B：好きという生徒が男子65%以上 女子48%以上 C：Bに満たない。 ※男女とも数値が上回ることにする。	A	R1の結果、 ・男子 …88.5% ・女子 …75.6% ・1男：9.4% ・1女：6.7% ・2男：8.8% ・2女：7.4% ・3男：8.2% ・3女：8.2%
運営活動	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の準備運動で、体力づくり運動を毎時間実施する。 	4月～10月（水泳授業のある7月を除く）体育（準備運動）で、体力づくり運動を、 A：総時数の75%以上の時間で実践 B：総時数の60%以上の時間で実践 C：Bに満たない。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上1校1取り組みを確実に実践する。 ・2学期に2回目の新体力テストを実施する。
基本的な生活目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピーライフウィーク」での基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。 	教育活動の重点3項目の取組で A：3項目を達成する B：2項目を達成する C：Bに満たない	B	達成目標は80%である。 11月の取組結果は、 ①11時までに就寝する。(78%) ↓ ②メディアは2時間まで(87%) ↑ ③バランスの取れた朝食(95%) ↑
生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピーライフウィーク」で ①11時までの自分の決めた時間に就寝する。 	生徒取組カードで A：80%以上の生徒が実施 C：Aに満たない。	A	ハッピーライフウィークに参加し 取り組んだ生徒は100%。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピーライフウィーク」で ②メディアの使用を2時間以内に作る。 	生徒取組カードで A：80%以上の生徒が実施 C：Aに満たない。	A	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピーライフウィーク」で ③バランスの取れた朝食を食べる。 	生徒取組カードで A：80%以上の生徒が実施 C：Aに満たない。	A	
運営活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピーライフウィーク」中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。 	ハッピーライフウィーク中に担任か学年主任、養護教諭のいずれかが A：毎回、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 B：年間1回以上、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 C：Bに満たない。	A	学校評価（3.5） その都度指導を行った（1） 全体指導を行ったが個別はできなかった（2） 養護教諭がその都度、付箋に指導内容を書いて生徒に返していた。

3. 学校支援地域本部事業



1年

みんななかよし みんな大すき!

～すてき いっぱい 見つけた!～

入学して、多くのことに目を輝かせてチャレンジした子どもたち。ヤギやアサガオ、サツマイモの世話を通して、生き物に対する思いやり、協力することの大切さを学びました。かに獲りや昔の遊び体験では、地域の方にやり方を教えていただきながら、楽しく活動できました。自然・生き物・人々と関わり合いながら、④⑤⑥をたくさん見付けました。



さつまいもパーティー



昔の遊び体験



ヤギとなかよし

2年

町のいいところ大発見!

～自然の恵み・地域の方との出会い～

梅もぎ体験や梅ジュース・梅干し作りを通じて、地域の良さや恵みを感じました。大根作りでは、校外の広い畑を借りて大きな大根を収穫後、JA「青空市」で販売体験をして地域の方とふれ合いました。駅前と海岸の二度に及ぶ「町探検」では、地域にあるお店や施設を訪問し、町のいいところをたくさん見つけてきました。



町探検 ～駅前編～



たくさん
なっているよ。



いっしょに!
大きな大根ですよ!



町探検 ～海岸編～

3年

出雲崎のここが好き

～自まんがいっぱい!～

出雲崎は良寛さんが生まれた場所です。3年生は良寛さんを題材にグループで協力しながら7枚の大漁旗を作成しました。11月にオープンした「歴史や五郎兵衛」を訪れ、昔料亭だった風情ある建物の中をじっくりと見学しました。その後、「出雲崎名物の浜焼き」をみんなで味わいました。伝統を受け継ぐ行事や芸能にも触れました。様々な活動を通し、出雲崎のよさを一人一人が実感することができました。



大漁旗の作成



歴史や五郎兵衛の見学



迫力ある獅子舞

4年

出雲崎の未来 ~環境と暮らしから考えよう~

1時間でごみは軽トラックの荷台いっぱい!



海岸清掃

春の「ほなみが丘探検」から、ほなみが丘の植物を調べたり、ほなみの自然を生かした遊びをしたり、自分たちにとっての「ほなみが丘」とはどういうものか考えました。社会科では、ごみや水道について様々なことを教えていただき、自分たちのくらしと結びつけながら学びました。

そして、それらから自然を取り巻く環境・自分たちの身近な環境問題について調べ活動を行いました。今、どんな事が問題になっているのかを調べ、このままだと未来はどうなるのかを予想し、自分たちでできることは何かを考えました。現実の問題を知り自分で調べていくことで、人ごとではなく自分達の未来へつながる問題なのだということに気づくことができました。

また、出雲崎町の姉妹都市である福島県柳津町の柳津小学校の児童と交流し、互いの町について紹介しました。

春のプールでの生き物調査



ほなみが丘探検

身近な自然に触れよう



柳津小学校の4年生と交流

5年

米から広がる私の世界

~米を通して、いろいろな人とつながろう!~

「米をつくってみたい」という子どもたちの言葉から、米づくりに挑戦しました。JAの皆さんやお家の方から協力していただき、田植えや稲刈りを行いました。できたお米は“ポプラ米”として、姉妹都市交流の柳津町の5年生に送り、感想を教してもらいました。また、天領の里で販売をして山梨県や東京都など県外の方々にも食べてもらいました。県外の方々からお米の感想やねぎらいの葉書をいただき、お米の美味しさを改めて実感するとともに、いろいろな人とつながることにより、これまでになかった自分の考えを広げることの楽しさに気付くことができました。



感謝の会を開きました



天領の里での米販売



初めての田植え



たくさん実のりました!

6年

夢の力 ~自分の生き方を見つめよう~ 「わたしの生き方宣言」

出雲崎町の“人”や“もの”などの出会いを通して、自分の夢について考えてきました。それも、出雲崎町とかわりながら生きる夢を...

出雲崎で活躍する人たちから「夢」についてのお話を聞いたり、出雲崎とかわって活躍する人たちの「生き方」を学んだりしました。そして、ここでの学びを、自分の「夢」や「生き方」などからめながら“編集”して、『わたしの生き方宣言』として発表しました。この『わたしの生き方宣言』を胸に、中学校という道に歩み出します。

良寛さんに携わる方との出会い



保育園で保育士体験



巨大書にチャレンジ!



巨大書の前ではい、ポーズ!

ふるさとへの愛着と誇りを育てる

出雲崎中学校の取組

ふるさとについて学ぶ・考える

出雲崎の産業、伝統文化を学んだり他地域を巡検したりなどとして、出雲崎についての学びを深めました。



1年 良寛史跡巡り



1年 職場体験



2年 新潟巡検から未来の出雲崎を考え、こども議会にて提案



2年 新潟巡検



『学ぶ』だけでなく、出雲崎町に貢献したり、様々な人と交流したりする活動を行いました。

ふるさとに貢献する



3年 町防災訓練で炊き出し



全学年 出雲崎大祭へ参加



3年 福祉施設訪問



吹奏楽部 船祭り参加




全学年 町体育館清掃

IV 社会教育事業の実施状況

1. 社会教育・公民館事業

①青少年教育事業

事業名	事業の対象	実施内容
夜間キッズ 「レベルアップ コース」	小学校4～6年	<p>実施回数 全16回実施(5月～2月) 第2及び第4の金曜日 19:30～20:30</p> <p>会場 町民体育館</p> <p>講師 NPO法人あそびそだち i L a b o</p> <p>対象 小学校4年生から6年生</p> <p>参加者数 1回あたり約10人</p> <p>目的及び内容 基本的な運動能力を広げ、スポーツレベルの向上及びやらされる受身の運動だけでなく、自分で考え行動する主体性や多様で新たな動きの経験を通して、引き出すような関わり合いにこだわった内容。 〈主な内容〉 コーディネーショントレーニング (運動あそび)、スポーツ鬼ごっこ、ドッジボール等のボール遊び</p>
学びアシスト 「きらり塾」	中学校2・3年	<p>〈学年別実施状況〉</p> <p>実施回数・中学校3年生 第2及び第4の水曜日 19:00～21:00 全19回 前期 5月～9月 7人 後期 10月～2月 5人</p> <p>・中学校2年生 第1及び第3の水曜日 19:00～21:00 全20回 前期 5月～9月 6人 後期 10月～2月 6人</p> <p>※部活動のない水曜日に開催</p> <p>会場 「子は宝」多世代交流館 きらり</p> <p>講師 遠山 昇 氏 (三島中学校校長退職、現在、長岡市社会教育委員)</p> <p>目的及び内容 学習習慣を身につけたい。苦手科目を克服したい。受験に向け不安がある。何を勉強すればよいかわからない。などの悩みを解消。 5教科を対象とした自主学習。 疑問点等を講師に質問し、悩みを解消</p>

<p>出雲崎ッズ 「夏休み講座」</p>	<p>小学校1～6年</p>	<p>実施回数 夏休み期間：3回 会場 出雲崎小学校体育館 参加者数 1年生：5人 2年生：2人 3年生：10人 4年生：6人 5年生：1人 6年生：1人 目的及び内容 運動遊び塾 ・いろいろな運動遊びで元気にカラダを動か しましょう ・運動が苦手な子でも楽しめます。</p>
<p>放課後子どもプラ ン</p> <p>・放課後児童クラブ (放課後児童健全育成事 業)</p> <p>・放課後子ども教室</p>	<p>小学校1～6年</p>	<p>実施回数 通年(月～金放課後、第1・3・5土曜日、 振替休業日、長期休暇期間)</p> <p>会場 出雲崎小学校体育館内 児童クラブ室</p> <p>登録数 1年生：14名 2年生：11名 3年生：14名 4年生：9名 5年生：2名 6年生：0名</p> <p>目的及び内容 昼間保護者が不在となる家庭の児童の保護保育 を図るため、遊びや生活の場を提供する。</p> <p>実施回数 41回(3月は中止) (月曜：高学年 火曜：低学年月1回ずつ)</p> <p>会場 出雲崎小学校(生活科室)</p> <p>登録数 1年生：13名 2年生：14名 3年生：16名 4年生：13名 5年生：5名 6年生：1名</p> <p>目的及び内容 ・地域の教育力を活かし、体験や交流、学習など 多様な活動の機会の提供。 ・放課後等の安心安全な居場所づくり。 (主な内容) 英語学習 英語の音に親しむ、英語を使ったゲーム</p> 

②成人期・高齢期の学習活動

事業名	実施内容
出雲崎総合大学	<p>実施回数 全 12 回開催（歴史・文化・化学など幅広く実施）</p> <p>受講者数 43 人（延べ 300 人）</p> <p>実施内容 住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力あふれる、生きがいのある生涯学習社会の実現を図ることを目的とした学習講座。</p> <p>〈主な講座〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出雲崎弁郷土かるたを作ろう ・ 源川彦峰の作品展示と記念講演会 ・ 良寛と相馬御風 ・ 県立歴史博物館出前講座「年中行事と人々の認識」 ・ 日常生活の食品と化学 ・ 出雲崎の人物など <p>（第 4 回 講義風景）</p>  <p>（第 10 回 講座風景）</p> 

公民館講座

料理教室

実施日 6/8 (土) パツとつくれる夕飯メニュー
7/13 (土) 暑さを楽しむ涼メニュー
11/9 (土) 秋野菜のおもてなしメニュー
12/13 (金) ぱぱっと簡単 クリスマスディナー
3月 中止

参加者数 19人
講師 井原 美佐子 氏

フラワー
アレンジメント教室

実施日 9/7 (土) ハーバリウムづくり
11/2 (土) 「秋の彩り」秋色の生花を盛り込んだアレンジ
12/21 (土) 「クリスマスのテーブルアレンジメントフラワー」
2/22 (土) 「ひな祭りのアレンジメント」

参加者数 21人
講師 明田川 綾子 氏




昔話・昔遊び
(異世代交流事業)

概要 昔遊びや昔話を通じて子どもたちと交流する
目的 子育てを柱とした多世代交流事業を実施することにより、子供たちの感性を磨きつつ、シルバーパワーも生かし、好循環サイクルを創出する

講師 出雲崎語り部の会 会員
第1回目 11月18日 10人参加
第2回目 3月27日 12人



<p>おうちパン講座</p>	<p>実施日 2/8 (土)「トマトドデカパン」 & 「チョコステックパン」 2/29 (土)「基本のドデカパンでピザ風」 「クランベリーホワイトチョコの切りっぱなしパン」 3月 中止</p> <p>参加者数 17人</p> <p>講師 細木 百合子 氏 (おうちパンマスター)</p> 
----------------	---

③芸術・文化活動

事業名	実施内容
<p>文化芸術鑑賞会</p>	<p>対象 出雲崎小、中学生及び一般町民 来場者約 360人</p> <p>実施日 7月5日(金)</p> <p>内容 打! Fantastics 「ファンタスティック・パーカッション・プロジェクト」</p> 
<p>東京藝大生招致事業</p>	<p>参加者数 東京藝術大学 大学院生 11人</p> <p>実施日 8月2日(金)～5日(月) 3泊4日</p> <p>内容 街並スケッチ画を制作し、完成した作品の鑑賞会と作品を町へ寄贈。出雲崎小中学生を対象としたスケッチ画講習会を実施。</p>

<p>国民文化祭</p>	<p>参加者数 68名 実施日 10月27日(日) 内容 「詩(ことば)フェスティバル 文芸散策バスツアー」 良寛・花火をテーマにゆかりの地をたずね、俳句・短歌を詩作する吟行を実施。参加者は良寛記念館、良寛堂などを訪れ即吟し、その後表彰式と講評を行った。また、審査においては審査用の資料作成を町内の句会にお願いし協力をいただいた。</p>
<p>第14回良寛さん 心の書道展</p>	<p>目的 子供たちに良寛さんのやさしい心を継承する 対象 出雲崎小、中学生 応募数 256点 展示期間 9月7日(土)～16日(月・祝) 会場：中央公民館講堂</p>
<p>生涯学習 フェスティバル</p>	<p>作品展示 11月2日(土)～3日(日・祝) 出展者 17団体+個人 23名 ステージ発表 11月3日 出演団体 11団体 その他の催し物 11月3日実施 町民茶会(町婦人会) 防災コーナー、交通安全コーナー(総務課) 健康づくりコーナー(保健福祉課) 廃棄図書の無料配布(図書館)</p> <div data-bbox="523 1086 1492 1456" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="574 1550 1439 2038" data-label="Image"> </div>

文化サークル 活動助成	・ 6サークルに助成 太極拳、大正琴、書道、ガーデニング、英会話、ちぎり絵
関係団体活動助成	・ 3団体に助成 奥の細道天の河俳句大会実行委員会 出雲崎妻入りの街並景観推進協議会 街並活性研究会

④学校・家庭・地域の連携事業

事業名	実施内容
学校・家庭・地域の 連携事業 (学校支援地域本部)	学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整えることを目的としている。 地域コーディネーターが中心となって、地域の様々なボランティア指導者や団体と協力して小中学生を対象に活動を実施。

⑤その他事業

事業名	実施内容
公民館だより発行	毎月1回(4ページ)、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」発行し、町の全世帯に配布。町ホームページにも掲載。 仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。
生涯学習 カレンダー作成	公民館、町、学校などの事業予定を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に3月5日に配布。(作成部数1,850部)
良寛記念館	○年4回の企画展 ・春の企画展「高橋まゆみ人形展」～良寛さんに親しみを～ ギャラリートーク 4月30日(火・祝)開催 ・夏の企画展「こしの千涯展」～良寛の心を描いた画家～ ギャラリートーク 7月21日(日)開催 ・秋の企画展「良寛と良相馬御風」～御風没後70周年を待ち受けて～ ギャラリートーク 10月31日(木)・11月7日(木)開催 ・特別企画展「金澤翔子展」～金澤翔子席上揮毫「天井大風」初公開記念 ・冬の企画展「良寛と河内舟人展」～良寛になりたかった日本画家～ ギャラリートーク 1月26日(日)開催 ○良寛記念館ライトアップ事業 ・国登録有形文化財の「良寛記念館」をライトアップ 期間 10月1日(火)～10月14日(月・祝) 18:00～20:00 ○秋の音楽会 ・弦楽器アンサンブル演奏 10月1日(火) 19:00～20:00 演者 アンサンブルスバル

北前船日本遺産推進事業

・ジャズ演奏

10月11日(金) 19:00~20:00 演者 MINT 3

・雅楽演奏会とお茶会

11月17日(日) 15:00~16:00 演者 獅子孔雅楽会
14:00~ お茶会

○さいたま市・倉敷市良寛書画展

目的 良寛・良寛記念館及び出雲崎町の認知度を高めるため良寛書画展を企画。

展示内容 町所有の良寛の遺墨等10点・良寛アニメーション「天上大風」の上映と原画の展示。(倉敷市では、さざえの炊込みご飯
物産の販売も実施)

開催日 さいたま市 11月30(土)・12月1日(日)
倉敷市 11月9(土)・10日(日)

来場者数 さいたま市 書画展 251人
倉敷市 書画展 284人 物産販売 2,000人

○日本遺産認定記念講演会とパネル展

場所 : 天領の里・時代館

期間 : 7月7日~7月29日

事業概要: 記念講演(文化財と活用の2側面から)、お船歌のアトラクション、県内の認定4市と連携し文化財をパネルで紹介
(来場者 150名)



○街並み周遊

場所 : 町内(海岸地区)

期間 : 9月22日

実施概要: 北前船関連文化財について、周遊ルートとして定着を図ることを目的にモデルコースを設定し、1日4回、構成文化財の妻入りの街並みなどを街並みガイドと共にまち歩き実施

⑥利用状況（公民館・良寛記念館）

公民館利用者数

平成 30 年度		令和元年度	
海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
3,081 人	11,699 人	2,923 人	11,246 人

良寛記念館入館者数（2月末日現在）

平成 30 年度	令和元年度
10,225 人	11,394 人



2 図書館事業

① 図書館利用状況について

表 1：分類別利用状況

	平成 30 年度		令和元年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総記	16 冊	17 冊	22 冊	17 冊
哲学	73 冊	38 冊	103 冊	49 冊
歴史	97 冊	49 冊	144 冊	33 冊
社会科学	59 冊	38 冊	117 冊	28 冊
自然科学	53 冊	60 冊	100 冊	40 冊
技術	64 冊	51 冊	91 冊	55 冊
産業	15 冊	9 冊	19 冊	13 冊
芸術	152 冊	49 冊	152 冊	36 冊
言語	26 冊	4 冊	9 冊	14 冊
文学	1,752 冊	777 冊	1,812 冊	556 冊
絵本・紙芝居	306 冊	171 冊	333 冊	321 冊
雑誌	130 冊	34 冊	135 冊	28 冊
計	2,743 冊	1,297 冊	3,037 冊	1,190 冊

※年度別貸出冊数

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
3,607 冊	4,040 冊	4,227 冊

表 2 : 図書貸出年齢別貸出人数

	平成 30 年度		令和元年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般 (23 歳以上)	874 人	414 人	921 人	390 人
学生・生徒 (13 歳~22 歳)	3 人	5 人	4 人	1 人
児童 (12 歳以下)	80 人	15 人	95 人	19 人
合計	957 人	434 人	1,020 人	410 人

※年度別貸出人数

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1,278 人	1,391 人	1,430 人

表 3 : 年齢別図書館利用人数

	平成 30 年度		令和元年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般 (23 歳以上)	488 人	96 人	352 人	69 人
学生・生徒 (13 歳~22 歳)	41 人	18 人	54 人	23 人
児童 (12 歳以下)	122 人	15 人	103 人	12 人
合計	651 人	129 人	509 人	104 人

※年度別利用人数

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
871 人	780 人	613 人

表4：図書購入状況

	平成30年度		令和元年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総記	4冊	2冊	7冊	5冊
哲学	9冊	2冊	5冊	3冊
歴史	28冊	3冊	16冊	12冊
社会科学	25冊	8冊	21冊	6冊
自然科学	19冊	5冊	14冊	12冊
技術	10冊	10冊	13冊	11冊
産業	3冊	1冊	7冊	1冊
芸術	24冊	2冊	18冊	9冊
言語	4冊	0冊	6冊	0冊
文学	213冊	129冊	203冊	104冊
絵本・紙芝居	84冊	68冊	73冊	52冊
計	424冊	230冊	384冊	215冊
(雑誌種類)	6種類	3種類	7種類	2種類

※年度別購入冊数

平成29年度	平成30年度	令和元年度
636冊	654冊	599冊

②その他事業

事業名	実施内容
ブックスタート事業	1歳6ヶ月になる児童に絵本3冊を贈呈
親子文庫	小学校を通じて、小学2～5年生の家庭に対し、本のセット（児童とその保護者）を貸出
除籍図書の無償配布	11月3日の生涯学習フェスティバルにおいて除籍した図書を無償で配布



3 社会体育事業

①町内大会

大会名	実施(予定)日	備考 今年度(昨年度)
第39回 町民ソフトボール大会	5月27日(日)	参加チーム不足により中止 (4チーム 42人)
第41回 町民バレーボール大会	6月30日(日)	6チーム 75人 (6チーム 68人) 大谷、佐藤、高桑、小林、 田口委員従事
第13回 町民ウォーキング	9月29日(日)	雨天中止 (47人)
第38回 町内ゲートボール大会	10月15日(火)	8チーム 52人 (8チーム 55人)
第30回 町民ソフトバレーボール大会	11月17日(日)	12チーム 80人 (12チーム 80人) 大谷、佐藤、高桑、河野、 小林、田口委員従事
第4回 町民卓球大会	12月8日(日)	17チーム 85人 (16チーム 80人)
第33回 屋内ゲートボール大会	2月4日(火)	8チーム 51人 (8チーム 54人)
第39回 町民バドミントン大会	3月15日(日)	新型コロナにより中止
町民登山	8月11日(日祝)	15人(尾瀬) 佐藤、丸山委員従事
	10月27日(日)	(角田山)雨天中止 (15人)



町民バレーボール大会



町民ゲートボール大会



町民登山(尾瀬)

②体力づくり事業(実施場所:町民体育館2階トレーニング室)

事業名	実施(予定)日	備考 今年度(昨年度)
トレーニング教室	第1期:5月~10月 全20回 第2期:10月~2月 全19回	申込:19人 延べ:194人 (申込:21人 延べ:274人) 申込:15人 延べ:120人 (申込:24人 延べ:206人)

③スポーツ教室等

大会名	実施(予定)日	備考 今年度(昨年度)
わんぱく水泳教室	7月29日～8月2日 全5回	申込:32人 延べ:137人 (申込:33人 延べ:154人)
剣道教室	通年(月・金)	2人(3人)
柔道教室	通年(火・金)	9人(16人)
テニス教室	5月～11月 全20回	申込:10人 延べ:106人 (申込:7人 延べ:106人)
フットサル教室	9月～11月 全8回	申込:10人 延べ:51人 (申込:6人 延べ:26人)
柔剣道昇級審査会	11月30日(土) 剣道 12月1日(日) 柔道	2人(3人) 9人(16人)
さわやかスポーツ教室	通年(火) 全20回	申込:25人 (申込:31人 延べ:344人)
背骨コンディショニング教室	5月～12月 全10回	申込:39人 延べ:202人 (申込:44人 延べ:204人)
小学生スポーツチャレンジ教室	サッカー:5～10月 全20回 バレー:5～9月 全19回 卓球:5～11月 全21回 バスケ:11～12月 全8回 野球:4月～10月 (火・木)	サッカー 申込:34人 延べ:429人 (申込:48人 延べ:487人) バレー 申込:10人 延べ:149人 (申込:21人 延べ:300人) 卓球 申込:18人 延べ:293人 (申込:20人 延べ:125人) バスケ 申込:8人 延べ:63人 (申込:8人 延べ:62人) 野球 申込:22人 延べ:364人
トランポピクス教室	1月～2月 全4回	申込:21人 延べ:71人
スキー&スノーボード教室	2月16日(日)	20人 佐藤、丸山委員従事 (30人)



わんぱく水泳教室



テニス教室



フットサル教室

④体育協会主催事業

事業名	実施（予定）日	備考 今年度（昨年度）
姉妹都市中学生交流スポーツ大会	7月13日（土）	会場：柳津町 出雲崎町：11人 柳津町：6人 （出雲崎町：45人 柳津町：41人）
姉妹都市親善スポーツ大会	10月14日（月祝）	会場：出雲崎町 台風19号により中止 （出雲崎町：38人 柳津町：33人）
第18回出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日（火）	感染症対策により中止 （16チーム 90人）



姉妹都市 中学生交流スポーツ大会

⑤スポーツ推進委員関係

事業名	実施日	備考
中越地区社会体育研究協議会	4月25日（木）	長岡市 欠席
北陸地区スポーツ推進委員研修会	6月22日（土）～23日（日）	福井県 福井市 佐藤、高桑、安部委員 小岩主事出席
二市三刈羽ブロック研修会	8月31日（土）	長岡市 佐藤、丸山、高桑、 小林、田口委員 小岩主事出席
新潟県スポーツ推進委員大会	10月5日（土）～6日（日）	新発田市 佐藤、高桑委員 小岩主事出席
中越地区社会体育総合研修会	10月12日（土）	三条市 欠席
二市三刈羽スポーツ推進委員 ふらば～るバレーボール	11月23日（土・祝）	柏崎市 欠席

⑥長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

・スポーツ指導者派遣事業

「コーディネーショントレーニング教室」 1月～3月（全5回を予定）

感染症対策により4回で終了



コーディネーショントレーニング教室

⑦体育施設利用状況

	平成 30 年度	令和元年度
町民体育館	29,985 人	28,983 人
(トレーニング室)	(10,638 人)	(10,601 人)
町民野球場	4,342 人	3,004 人
多目的運動場	1,290 人	971 人
プール	4,878 人	4,789 人
柔道場	1,401 人	589 人
屋内 GB 場	5,597 人	4,797 人

➤概要

令和元年度は、青少年や一般成人等を対象とした各事業について、学習ニーズの高まりや多様化に対応できるように内容の一層の充実を図ってきた。

1. 未来を担う子供たちの人間力を高めるため、就学前幼児や小中学生を対象とした教室、保護者を対象とした家庭教育学級等の内容の充実を図った。
2. 町民のニーズに応じた幅広い講座や文化教室を推進し、内容の充実を図りながら、学習機会の促進を図った。
3. 家庭学習の指導にも発達段階に応じた指導を進めている。どの段階でどのような指導を行うことが必要なのか、学校、家庭、教育委員会が連携を取りながら家庭学習の充実・定着を図っている。

▶成果と課題

1. 文化教室の受講者は高齢者が主であり、定期的に出かける場となることで孤立を防ぎ、仲間づくりにつながるので有効なものと考えている。一方、参加者の高齢化や固定化により新規参加がしにくいことや若者参加の掘り起こしを行い、今後もニーズを捉えた教室開催が望まれる。
2. 総合大学は人気があり、「講座終了後も続けてほしい」などのニーズがあるため、今後も多彩な講座やセミナーを計画し、身に着けた知識や技能を地域などで役立たせる人（コーディネーター）を増やす必要がある。
3. 放課後児童クラブの運営では常に定員を超える申込みがあり、現在のクラブ室では手狭なため空き教室を利用した体制や支援員の指導力向上が課題となっており平日、長期休暇に利用者のニーズにあった運営が必要となっている。
4. インターネットやスマートフォンの普及により読書離れが進んでおり、子供たちの健やかな成長には読書を推進していくことが重要で、子供読書活動推進計画により学校・家庭における読書推進を図らなければならない。
5. 中公3階の郷土資料室ではボランティアによる資料整理がほぼ完了し、常設展示や空家の活用などで積極的に展示するなど気軽に立ち寄れる場所づくりを目指す。
6. ネット社会の進展により、子供たちのネットいじめ、ネット依存などメディアコントロール力を高めることが課題である。家庭内でのメディアやゲーム機の決め事を話し合っって子供たちの心や行動に影響しない取組を継続していかなければならない。
7. 国の打ち出している総合戦略の中で、人口増加対策・交流人口を増やしていく政策を進めている。町の重要な観光施設である良寛記念館の魅力を上げるためハード、ソフト両面から検討し、より充実した施設整備とPR活動の展開しなければならない。
8. 伝統芸能の育成は団体に働きかけ行いながら、一方で青少年育成講座などの教室で興味を持ってもらう動機付けが必要であるので、指導できる体制づくりをめざす。
9. 日本遺産「北前船寄港地」で文化庁から追加認定され、町に残された構成文化財に光を当て記念講演会や展示、保存に努め、町の活性化に向けて自治体のネットワークを活用して発信していく。
10. 町民のニーズにあったスポーツ活動の機会を町民と協働で実施していくことや現在行っている大会やイベントを一層充実していくことが重要で、そのために町民に知ってもらえるような情報発信の工夫が必要となっている。
11. 家庭教育は自制心、自立心等を育成する大切な役割を果たすため、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や親が家庭教育に関して気軽に相談でき、家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子育て家庭を支援していく体制づくりが必要である。

V 学校・社会教育施設の整備充実

▶整備の状況	<ol style="list-style-type: none">1 学校教育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none">○学校施設長寿命化計画策定業務委託○小学校駐車場整備工事2 社会教育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none">○中央公民館貯水槽修繕工事3 社会体育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none">○町民体育館屋上防水改修工事○町民野球場トイレ塗装工事○町民野球場高圧引込ケーブル更新工事○町民プールウォータースライダー修繕工事
--------	---

▶概要

本年度は、小中学校の施設の長寿命化計画を策定して計画的な老朽化対策を行うことにより、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化が今後図られることになる。当町では、学校教育施設や社会教育・社会体育施設等の整備は、概ね計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修は終了し、小規模な修繕を実施している。今後もこの長寿命化計画をもとに施設の更新を進めていく。

▶成果と課題

小学校では、駐車場が不足していることからグラウンドの一部を整備し、職員や児童クラブの保護者用の駐車場の確保により利便性が図られた。

社会体育施設では、体育館の老朽化による雨漏りが発生しており、屋上防水の改修を行い対策した。

社会体育施設では、昨年4月多目的運動場のテニスコートを人工芝に整備し多目的に使用できるようにした。今後も町民の健康増進とスポーツ振興に役立つ施設として利用率向上を図っていく。

今後とも、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応していかなければならない。

VI 学識経験者からの総合評価

元長岡市立北中学校長 山崎十五郎

これからの社会はAI化やグローバル化がますます進む中で、世界の国々が未知の課題に直面し、時代は歴史的転換期を迎えていると言える。我が国においても令和元年度がスタートし、私たちは物質的繁栄のみならず新しい価値の創造が求められている。

折しも、新学習指導要領完全実施を目前にして、貴教育委員会はその趣旨及び内容を確実に受け止め、町独自の保・小・中の連携を中核にして時代の大きな変化を踏まえた人材育成にしっかりと取り組んでいる。そのことは町の教育基本計画「いずもぎき5つの教育」に簡潔且つ具体的に示されている。

教育委員会の活動においては「総合教育会議」をはじめ、定例会議や研修及び様々な教育活動への参加を通じて、現状把握に努めるとともに課題の共有がなされている。喫緊の課題である「働き方改革」については、国が取り組んでいる改正給特法に盛り込まれた「変形労働時間制」だけでは実質的な効果が得られない状況である。貴町では先駆けて、教員補助員の配置、英語指導員や理科支援員、情報教育支援員を配置してきている。今後とも教育現場の指導態勢の充実に向けて一層のご配慮をお願いしたい。

学校教育においては、一貫して保・小・中の連携を中核とした取組がなされている。とりわけ、多世代交流館「きらり」は、育児相談から児童生徒の成長過程に即した学びの場に至るまで、総合支援拠点としての機能を有している。行政側の的確な施策の一つの表れである。また、小・中の連携においては、教職員の相互理解、目的の明確化、そして発達段階を踏まえた指導とその検証がなされている。これからは、英語教育やプログラミング教育を受けて、両校指導スタッフの交流促進が一層期待される場所である。

小学校、中学校ともにハッピーライフウィークへの取組により基本的な生活習慣の定着に成果がみられる。同時にメディアコントロールへの継続した指導がなされていることは極めて重要なことである。新たな社会において必要不可欠なツールであり、親子共々、体験を通じて健全な活用方法を習得していかなければならない。

社会教育においては、事業は多岐にわたり、各世代のニーズに応える形で生涯学習が保証されていることに敬意を表したい。良寛記念館の企画展や北前船の日本遺産認定記念講演会等を通じて歴史・文化を内外に発信し続けていることは大変心強い。また、図書館事業の成果は、図書貸出数の増加に表れている。

今回の学習指導要領の改訂は、激動の時代を生き抜くための改革である。「これから社会が大きく変化する中、主体的に行動することで自らの幸せをつかみ取ってほしい。」という願いが込められている。貴教育委員会の示された「いずもぎき5つの教育」が包括的につながるときに、子ども達は着実に人間力を高めていくものと確信している。

Ⅶ その他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

職 名	氏 名	備 考
元長岡市立北中学校長	山崎 十五郎	柏崎市在住 (旧西山町)

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員—

(令和2年3月31日現在)

職 名	氏 名	備 考
教育長	佐藤 亨	
委員	村越 隆夫	教育長職務代理者
委員	内山 才子	
委員	佐藤 正志	
委員	大磯 多華子	

—職員名簿—

職 名	氏 名	備 考
教育課長	矢島 則幸	
管理指導主事	高畑 秀紀	
教育課課長補佐	吉岡 育子	
教育課係長	渡辺 一敏	
教育課係長	若山 和義	
教育課主任	小林 ひろ子	
教育課主任	山崎 健太	
教育課主事	小岩 悠樹	
教育課主事	石津 大弘	
事務職員	竹村 しのぶ	
事務職員	小川 真紀子	
用 務 員	小林 秋子	
清 掃 員	柴田 圭一	
良寛記念館 館長	永寶 卓	学芸員
同 事務職員	小黒 晴美	
同 事務職員	大久保 淳子	
同 事務職員	佐藤 佐由里	